

## 平成 27 年度感染症研修会時の質疑応答

【9/11】

Q 通常素足で活動している児童クラブで、児童が嘔吐した場合、どのように対応すべきか？

A 皮膚を次亜塩素酸ナトリウムで消毒することはできないため、石けんで丁寧に洗う必要がある。児童が帰宅したあと、次亜塩素酸ナトリウムで半径 2 m 程度消毒するとともに、環境消毒と換気をして欲しい。

Q 屋外の公園で嘔吐物を発見した場合、室内と同様に次亜塩素酸ナトリウムで消毒すべきか？これまでの対応としては、嘔吐物を土の中に埋めている程度である。

A 次亜塩素酸ナトリウムで消毒することに効果はあると思われるが現実的ではない。屋外なので、空気の流れもあることから浮遊したウイルスは拡散するため、室内と同様の対応は不要と思われる。

Q 小学校の余裕教室の児童クラブの床はカーペットであるが、児童が嘔吐した場合、どのように対応すべきか？

A 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒は効果が高いが、色が落ちるということも想定される。ウイルスは熱にも弱いため、スチームアイロンの使用も候補の 1 つである。当日は別の部屋を利用することが望ましいが、適切な消毒ができていれば、消毒後に部屋の利用は可能である。利用者の保護者に対して状況を説明し、症状が出た場合は速やかな受診を促すとともに、児童クラブ側としても念入りな体調管理が必要である。

Q 嘔吐した児童の移動について、どのようにしたら良いか？

A 嘔吐物が付着している児童を違う部屋にうつすと、ウイルスを塗り広げてしまい、消毒範囲も広くなることから、お勧めできない。可能であればその場で着替えることが望ましい。

【9/15】

Q エプロンの重要性は理解できたが、1 ケア 1 患者ごとに取り替えるべきか？

A コストは高くなるが、汚染箇所が拡大すること等の衛生面を踏まえると替えるべきである。

Q 0 歳児のオムツ替え時に布製マットを使用し、毎日水洗いしている。新聞紙等、捨てられるものを敷くべきか？

A 水洗いだけでは不十分である。また、布製マットと新聞紙だけでは、ウイルスが浸透してしまうため、ビニールシートを使用すべきである。廃棄が難しいなら、ビニールを次亜塩素酸ナトリウムで消毒する必要がある。

Q 乳児は下痢をすると長引くが、対応はどのようにすれば良いか？

A ノロウイルス等の感染性胃腸炎はインフルエンザと異なり簡単に確定診断されない。また、ウイルスが排出されていないということを検査することも現実的ではない。便からウイルスが最大 1 か月間

排出しているものとして標準予防策を徹底するべきである。

Q 今年度、手足口病が流行したが登園停止等の対応はどのようにすれば良いか？最も効果的なのは手洗いか？

A 手足口病は登園停止に該当する感染症ではなく、また便中には長期間ウイルスが排泄されるため、長期にわたる登園自粛は現実的ではない。症状消失後も正しい手洗いと手洗いのタイミングが重要である。

Q 次亜塩素酸ナトリウムの作り置きを目安を1週間として良いか？毎日作ると予算が高くなり難しい。

A 作り置きすることで塩素濃度が下がってしまい、消毒効果が低下するため、嘔吐があった時に迅速に作ることが重要である。作り置きを目安をこちらで示すことはできず、保健所としては原則毎日作成するのが望ましいと考えている

Q シューズカバーは高くて買えない。何かで代用できないか？

A ビニール袋で代用することはできるが、滑りやすいので注意が必要である。

Q 児童が学校で嘔吐すると、机や椅子のそばにある防災頭巾や体操着袋等に付着するおそれがある。その場合、どのように対応するべきか。

A 机等は次亜塩素酸ナトリウムで消毒する必要がある。布地に付いた場合は、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムに浸してから、他の物と分けて洗濯する必要がある。半径2mにある体操着袋等を消毒することが理想であるが、実際には嘔吐物が付着した範囲の消毒となってしまうと思われる。その際、感染する可能性があることを認識し、児童の体調面を観察するとともに、具合が悪くなったら速やかに医療機関を受診するよう保護者に伝えることも重要である。

#### 依頼事項

今回の研修は基礎的なことは理解できた。しかし、乳幼児や小学生、中学生等、年齢によって免疫力や行動等に違いがあるため、中学生に特化した研修を企画してくれると助かる。例えば、新聞に次亜塩素酸ナトリウムを浸して10分置き、その間児童を近づけないといったことは中学校では不可能である。

【9/17】

Q 児童館で児童が嘔吐した場合、他の来館者は別の部屋に移動させた方が良いのか？また、閉館する必要はあるか？

A 別の部屋があるのなら、他の来館者は移動させた方が良い。また、嘔吐した児童を移動させると消毒範囲も広がるため、その場で着替えをさせる方が良い。

消毒がしっかりできているなら、閉館する必要はない。

Q 吐物処理時は布地よりも、ビニールのエプロンを使用した方が良いか？また、次亜塩素酸ナトリウ

ムで浸した新聞紙を取り除いた後に水拭きした雑巾も消毒するべきか？

A 布製だと吐物が浸みってくる可能性が高いので、ビニール素材を使用した方が良い。水拭きした雑巾は次亜塩素酸ナトリウムでウイルスが不活化されているが、念のため消毒した方が安全である。

Q 利用者が嘔吐した場合、どのタイミングで換気するべきか？

A 乾燥して浮遊するウイルスを外に出すことができるため、また、次亜塩素酸ナトリウムから発生する塩素ガスを吸い込まないためにも、できるだけ早く換気するべきである。また、換気は処理が完了するまで継続することが望ましい。

Q 嘔吐物を処理する時は、ポリエチレンとゴムの手袋はどちらが良いか？ポリエチレンは破れやすい気がする。

A コスト面もあるため一概には言えないが、直接吐物に触れないことが重要である。仮に破れた場合でも、落ち着いてしっかり手洗いをすれば問題ない。

Q 「ノロウイルス感染対策マニュアル」には、嘔吐物を取り除く前に新聞紙を被せ、次亜塩素酸ナトリウムをかける方法も示されているが、どちらが良いのか？

A どちらも、嘔吐物をとりのぞき、ノロウイルスを不活化させることができるため、施設としてやりやすい方法で構わない。

Q 新聞紙は使用しないよう施設所管課から指導されているが、実際はどうか？

A 新聞紙によっては、吐物を吸収しづらいものもある。今回の研修で使用した新聞紙くらい吸収できれば十分であるため、施設で実習・研修する時に試し、吸収度合を確認しておくことをお勧めする。

Q ノロウイルス流行時期の環境消毒の濃度は通常よりも高いほうが良いか？

A 通常通り 0.02% で良い。有機物が残っていると濃度が低くなるため、事前に取り除いておくことが重要であり、吐物や便の処理時は 0.1% で消毒する必要がある。

Q デイサービスの利用者が施設で嘔吐した場合、汚れた衣服を家に持ち帰ってもらうが、その際、送迎バスを使用してよいのか？

A 吐物の付いた服をビニール袋（二重）に入れて、密封できていれば、バスを利用しても問題ない。

Q ノロウイルスが疑われる利用者が食器に嘔吐した場合はどのように処理するのか？

A 調理室以外で消毒し、調理室にウイルスを持ち込まないことが重要である。調理室は絶えず「清潔エリア」にしておく必要がある。

Q 下痢症状のある園児が利用した食器はどれくらいの期間、次亜塩素酸ナトリウムで消毒した方が良いのか？便から排出されるウイルスは最長 1 か月と聞いたが...

A 1 か月間消毒することが望ましい。

Q 利用者が嘔吐した場合、他の利用者に最低限伝えるべきことは何か？

A 「ノロウイルス等の感染性胃腸炎に感染する可能性があること」、「正しい手洗いの励行」及び「体調確認」である。

Q 次亜塩素酸ナトリウムの作り置きは何日有効か？

A 明確な基準は無いが、濃度が低下するため、その都度作成するべきである。少なくとも毎日交換することが望ましい

Q カーペットに嘔吐した場合、風通しのよい場所に8時間程度置いておくとウイルスが無くなると聞いたことがあるが、実際に効果はあるのか？

A 人の行き来のない場所に置いておくとウイルスが拡散するという報告もある。しかし、空気の流れが少ない場所では2ヶ月ウイルスが浮遊したという研究もある。少なくとも換気のみでは不十分であり、次亜塩素酸ナトリウムが使用できないのであれば、スチームアイロンで加熱してウイルスを死活化させることも方法の1つである。

【9/24】

Q 吐物を処理するときに換気扇は回すべきか？止めた方が良いと指導を受けたこともあるが…。

A 換気扇によっては、室外ではなく他の部屋につながっていてウイルスを拡散する場合もあるため、構造が明らかでない場合は、処理する前に換気扇を止め、外部につながる窓を開け、処理が終了してから換気扇を回すと良い。

Q 次亜塩素酸ナトリウムを作り置きした場合の、塩素濃度の低下するスピードはどれくらいか？

A 「消毒剤の選び方と使用上の留意点」には1か月で半減するという記載があり、東京都健康安全研究センターの調査では密栓し暗所の室内なら半年間は塩素濃度を保てるという報告もある。しかし、保管条件により塩素濃度の低下速度は異なり、作り置きでは効果を保証できないため、保健所としては必要時か、少なくとも毎日の消毒液の作成をお勧めしている。

Q 環境消毒時にスプレーで噴霧することに効果はあるか？

A スプレーだと、どうしてもむらが生じてしまい、完全に消毒することができないため、布でふき取る必要がある。

【9/25】

Q 吐物を処理する時に換気をするが、施設の窓側は開けて、廊下側は閉めた方が良いのか？

A 他の部屋にウイルスが拡散することも想定されるため、廊下側は閉じた方が良い。窓側だけの開放でも、換気の効果は十分ある。

Q 吐物を処理する場合、新聞紙に次亜塩素酸ナトリウムを浸して10分放置するが、その後、どれく

らの時間をあければ、その部屋を利用することができるか？

A きちんと処理できていれば、直ぐに使用しても問題はない。

Q 次亜塩素酸ナトリウムを処理の直前に作るのは難しい。作り置きはどれくらいできるのか？

A 作り置きができる期間を示すとすると「毎日」ということになる。余った消毒液は環境消毒に使用すれば効率的である。

Q サージカルマスクの正しいつけ方を教えて欲しい。

A マスクには裏表があり、一般的には折り目が下を向くように着用すると正しい向きになるものが多い。しかし、メーカーにより異なる場合もあり、施設で使用しているマスクのメーカーに直接確認した方がよい。

Q アルコール等の噴霧に効果はあるのか？

A 噴霧だと一面にいきわたらないので、効果的な感染症対策とはいえない。

Q 固形石けんを使用しているが、感染対策上問題はありますか？

A 病原体が固形石けんに残ってしまうおそれがあるため、お勧めできない。液体石けんを使用して欲しい。

Q 施設の利用者がアレルギー等で医師に石けんの使用を制限されている場合、どのように手洗いを指導すれば良いか？

A 石けんの成分によっては使用できる種類もあるかもしれないが、全ての石けんが使用できないのであれば、念入りに流水で手洗いする方法以外にはないと思われる。

Q 特別養護老人ホームで夜に職員一人で利用者対応をする場合、ベッド上での吐物をどのように処理したら良いか？気付くのが遅くなり、かなり浸みている場合も想定されるが...

A 一人勤務だと嘔吐した利用者の着替えや、移動はかなり困難と思われる。

シーツ等が脱色しない場合は次亜塩素酸ナトリウムによる消毒、そうでない場合はスチームアイロンでの消毒が有効である。リネン類を洗濯する業者に消毒処理を依頼することも可能と思われる。